

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年4月22日(18:00～20:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、木村、上井、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>初回関り時の食事・入浴・送迎・訪問など支援経過への詳細記載の継続</li><li>記録の苦手な職員に向けて、記録や伝え方を学ぶ場を作る</li><li>訪問できる職員を増やす</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>初回や初期段階での記録は複数名が行った詳細を記録でき共有できていた</li><li>訪問職員は増えたが記録を学ぶ場を全体で持つことは出来なかった</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	9		1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	2		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	5	7			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	6	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>詳細を見ることで関わっていなくても大体の対応が理解できた</li><li>新しく訪問先に行くことになった職員が2名いる</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>訪問が車が1台の為、特定の職員に偏ってしまうことがあった。</li><li>記録の書き方を学ぶ勉強会は開催できず、個別に聞いて対応した</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>記録の書き方やわかりやすい文章など、話し合いをしながら他の職員の意見を聞きたいという声がある。コロナ感染が広がっていて、複数人数での会議も開催しにくい状況だが、機会をもって質の向上を図りたい</li><li>初期の関りについての記録は記入出来ていて共有も出来ているため引き続き行っていく</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年4月22日(18:00~20:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、木村、上井、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	1人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・同じ人が連続で関わらないように介助者を決めていく方法は継続していく</li><li>・認知症の方への意思決定ガイドラインについてはカンファレンスの中で時間を作り読み合わせをする</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・入浴が苦手な方に対しては、相性の良い職員数名が対応することがあり連続してしまったことがある。</li><li>・日々の対応の話し合いで時間がかかり、会議で意思決定ガイドラインを読み合わせ出来ていない</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	3	7		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	6	3		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	2		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	4		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・意識的に勤務日は利用者様全員と関わるように声掛けが行えた。</li><li>・話しやすい利用者様のところばかり行かないように意識した。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・少し時間が作れた時になれている利用者様のところに振り返ると行ってしまっていた。</li><li>・入浴など断られてしまうと、次の利用日になかなか自分から声掛けが出来なかった。</li><li>・利用期間が長い利用者様の今の目標と言うのが見えにくい</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用期間が長い方は毎回似たような支援が続いていて、現状の維持を中心とした活動となっている。改めて今何を目指しているか話し合う場を作らないと家族も含め目標が見えにくくなっている。スタッフミーティングの場でも今の目標を確認する場を設けていく</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年4月22日(18:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、木村、上井、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・以前の暮らし方についてもっと情報収集していく</li><li>・利用者自身が思っている想いに意識的に耳を傾けていく</li><li>・口頭による伝達で済まらずに記録に残す癖をつけていく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・以前の活動や暮らしを意識して聞くようになった。</li><li>・記録は以前より付けるようになり記載も増えたが、口頭で終了し情報が共有されていない時もあった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	3	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	3	1		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	2	2	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	6			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	7			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者様の体調変化がある場合はリーダーや上司へ報告し、指示をもらい対応できた。</li><li>・入浴などは衣類の着脱なども以前より待つことが出来るようになり、本人のペースで行えた。</li><li>・ここは本当によくしてくれるなどの言葉ももらった。楽しんで帰ってもらえている日もあると思う。</li><li>・ミーティングで気になることを言える時間があり、利用者の接し方の不安を解消できたことがある。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・本人の声にならない声を言語化できていない</li><li>・認知症で同じことしか言わない人の本当の意図を理解することが難しい</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・職員用の連絡ノートに記載する習慣をつけるため、申し送り後に記載の時間を設ける。重要と思われる情報はこの時記載する。</li><li>・月1回のミーティングでは利用者様の声にならない声を話し合う事もあり1人で考えず議題に出してもらい話し合いの結果を参考にして考え方を学ぶことを継続していく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年5月20日(18:30~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、山田、木村、上井、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	3人	人	10人

前回の改善計画  
・本人と地域の関わり方を家族等に協力してもらい情報を得て地域を含めて支援する  
・コロナ禍における地域とのかかわり方について学ぶ機会を設けていく

前回の改善計画に対する取組み結果  
・ウェブ会議を法人内では何回か行ったが地域の会議には参加できていない。  
・地域包括と連携して利用者様の夜間帯の外出対応を行った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	4		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	6	1		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	6	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	5	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・本人の徘徊ルートを家族と話し合い、所在不明時に活用した  
・職歴などを参考に声掛けの仕方を変えている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・地域や民生委員などの関りが勉強不足でわからない。  
・夕方自宅へ送った後の生活を考えたことがなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・小規模のみで支援を完結してしまうことが多く、その対応で大きな不利益が利用者様に起こっていると感じることも少ないのでなかなか地域活動や民生委員との連携に至っていない。民生委員の活動を次年度はスタッフミーティングの話題に挙げて話し合う場を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年5月22日(18:00～21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、木村、上井、山田、星野、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	6人	1人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・デイ職員だけでは難しく家族の支援が必要と感じても家族の協力が得られにくい時がある。家族を巻き込んだ支援をしていけるように丁寧な説明を行い協力が得られるようにする</li><li>・コロナの影響もあったが地域の行事に参加していく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・家族とは連携して対応が出来た。食事の準備や帰宅時間など細かい対応も行えることが増えた。</li><li>・コロナ禍にあつての地域包括の活動に参加した</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	6		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	4			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	5	1		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	7	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・20時頃までの延長や、夕食後の送迎、急な連続宿泊、急なお迎えなど家族や利用者様の希望に対して職員を調整しながら対応できた</li><li>・ニーズに応じて支援出来ていると思う</li><li>・日々の変化はミーティングや朝礼で共有されている</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の資源を認知症があり理解が難しい方に活用していくか難しかった。</li><li>・前回の改善同様消防訓練など自治会の参加は行えなかった</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・細かい利用方法にも救難に対応できていたので、引き続き可能な範囲で調整し受け入れていく。</li><li>・コロナは終息していないが地域活動も増えてきているため参加できるための手段を考えていく。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年5月22日(18:00～21:00)

6. 連携・協働

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、山田、木村、上井、島田、星野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	2人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナが終息した後に利用者様やご家族以外の方の来所を再開する。ボランティアも再開検討していく</li><li>・コロナ禍における担当者会議や地域包括センターの会議参加の進め方を学び実施できる環境を作る</li><li>・地域の人に知ってもらうため、道路に面した駐車場を活かしカフェテラスなどの実施を検討</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ終息せずボランティアの再開は出来ていない。</li><li>・担当者会議などは適宜実施。地域包括の活動にも参加した。カフェテラスは未実施。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	5			8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	2	5	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	4	5	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			3	5	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・主治医や訪問看護の意見を取り入れて利用者様の対応をしていると思う</li><li>・家族の希望はその日の急な時間延長や送迎に対しても対応している。</li><li>・主治医や訪問看護とはケアマネや管理者中心に連携が出来ている</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会の行事参加はコロナの影響もあり参加できていない</li><li>・コロナの影響でボランティアの再開には至っていない。</li><li>・医療食豚会議や地域との会議については詳しくわからず評価できなかった</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナがなかなか終息せず町内会や自治会との連動が近年出来ていない。コロナ禍での自治会との連携を地域包括と相談しながら進めていく</li><li>・医療職との連携は随時行っている。今後も連携して利用者支援を続けていく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月17日(18:00~21:00)

7. 運営

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、上井、木村、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5人	6人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナが落ち着けば来所してもらい問題点などを直接伺う</li><li>・コロナ禍でもこちらから情報発信し意見がもらえるような体制づくりを築いていく</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域包括センターとは連絡を取り合いながら利用者様対応や催しへケアマネ中心に参加した。</li><li>・体制づくりは上手く出来なかった</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	4	5	3		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10			12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	4		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	3	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミーティングでは自分に件も聞いてもらえて発信できている</li><li>・ミーティングでは出席職員全員で意見をかわせていると思う。</li><li>・家族からの意見は当日返答し、実施を検討する場合でも2~3日で返答している</li><li>・利用者様家族からここがあってよかったという声をいただいている。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地位からの意見や取り組みなどパートの自分にはあまり関心が薄く一部の職員に任せてしまっている。</li><li>・</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・家族からの意見には対応しており大きな苦情はなかった。職員同士も話し合えており継続していく。</li><li>・地域からの苦情はないが意見ももらえる場面が少ない。管理者やケアマネなど窓口は必要と思うが施設全体で意見をもらう意識を作るため、感染対策をしながらの地域活動に一般職も参加していけるよう取り組んでいく</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月17日(18:00~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、上井、木村、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	6人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・ズームなどを活用したコロナ禍における研修方法を学ぶ</li><li>・感染対策を行いながら研修に参加できる方法を学ぶ</li><li>・小規模の特性を生かして認知症の相談会などが行えるとよいと思う</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ズームは何度か法人の会議で行った。外部との会議はまだ参加していない。</li><li>・コロナが終息せず相談会や研修には参加や開催が出来なかった</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		4	7		11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	7	3	11
③	地域連絡会に参加していますか		1	5	5	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		11			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ感染に対する消毒や換気は毎日行っている</li><li>・感染に対する対応は行えている。消毒に関する意識を持って勤務している。</li><li>・研修は法人指定の研修でユーチューブを見るなどコロナの中でも可能な限り行っている</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍で研修は全体で中止になっている</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ感染が広がっており法人内や外部への研修には「もし感染したら」という気持ちも強く対面式の参加を見合わせている状況が続いている。3年間も続いているため、感染予防策を行いながら研修を実施して対面式で得られる情報共有や所属施設外の介護職との仲間意識を持つ機会が得られるようにする</li></ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年6月17日(18:00～21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 吉野、浅見、小林、黒石、上井、木村、島田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	4人	2人	人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・人権擁護や高齢者虐待に関する研修の実施</li><li>・日々のプライバシーに対する意識と取り組みを話し合う機会を設ける</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・その場や職員ミーティングの場で言葉遣いや職員同士の呼び方などお互い指摘が出来ている。</li><li>・高齢者虐待に対する研修は実施できた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	1			10
②	虐待は行われていない	8	2			10
③	プライバシーが守られている		9	1		10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	2	2		10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・人権やプライバシーに関しては良く守られていると思う</li><li>・成年後見制度はことしも対象となる方がいて少しずつ理解が出来ていると思う。</li><li>・身体拘束や虐待はしていないし、されていない</li><li>・入浴時にバスタオルで肌を覆うなど当たり前だが大切な事を実施できている</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者虐待のチェック項目では職員によって認識の違いが多少見られた。</li><li>・</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者虐待については主観的な考えではなく、何故、この考えが正しいのかという事を事例に沿って話し合う場を職員ミーティングで設けて職員の考え方にずれが生じないようにする。</li></ul>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 三喜会	代表者	鈴木 龍太	法人・ 事業所 の特徴	平成 18 年より地域に根ざした認知症ケアの実践に取り組んでいます。家庭的な雰囲気 を大切に、デイサービスの利用に消極的な方や若年性認知症の方、周辺症状のある方 などの利用にも積極的に対応しています。通い慣れた場所での泊まりや馴染みの スタッフによる訪問サービスなど、環境の変化に敏感な認知症の方にも負担少なく利 用していただいています。介護支援専門員、介護福祉士、看護師、認知症ケア専門 士、作業療法士等の資格を持った経験豊富なベテランスタッフがチームワーク良くご 利用者の支援に取り組み、専門職の立場からご家族の相談にも応じ、支援していま す。
事業所名	デイサービスセンタ ー青葉台	管理者	吉野 裕晃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センタ ー	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	ご家族との連携を継続しながら 小規模ならではの利用内容の変 更にも柔軟に対応していく。	急な夕食の要望や延長利用、当日 の宿泊への切り替え、訪問への切 り替え、急な訪問など様々な利用 に対して対応を行えた。	地域包括からの困難ケースにも 受け入れを行っていただき、継続 した連携も取ってもらえている ので感謝しています。	小規模の特徴である柔軟な対応 は出来ており今後も継続してい く。地域とのかかわりに意識の差 があるため情報共有していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	前期できなかったパンフレット の変更を実施する。室内の照明な ど明るく感じられるような電球 に変更していく	室内の照明は随時蛍光灯からL EDへと変更している。 パンフレットの変更は行ってい ない。	室内が明るくなることはとても 良い事だと思います。 パンフレットは今のでもわかり やすいと思います。	建物自体が古いため、台風や地震 で災害が出ないように環境を整 えていく。パンフレットは再検討 していく。
C. 事業所と地域の かかわり	地域の行事に参加する。 地域包括主催の勉強会や研修会 などに参加し地域の方にも知っ てもらおう機会を設ける	地域包括センターの勉強会に管 理者とケアマネが参加する。 定期的に参加することは難しか った。	6月に地域包括センターで開催 した勉強会に参加していただき ありがとうございました。今後も 会議への参加をお願いします。	地域包括支援センター開催の勉 強会や会議を中心に今後も地域 の催しへ参加していく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	利用者の自宅付近で関われる商 店や地域包括の催しなどに参加 できるように情報収集を行う	コロナウイルスの感染拡大が続 き利用者様も職員も地域行事参 加は難しかった	コロナ感染も拡大する中、大変だ と思います。感染予防対策をしな がら地域行事を開催していくの でご検討ください。	地域のお祭りや活動を民生委員 の方と情報共有しながら参加の 仕方を一緒に考えていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	ズームを使った会議を少しずつ実施している。環境を整え今回の感染が広まっている時期でもウェブ開催が出来るようにしていく。	法人内の会議ではウェブ会議を行ったが、法人外の施設との会議は行えていなかった。やり方もまだよくわからないところも多い。	ウェブ開催の仕方や初めての方に対する案内も地域包括から発信を行っていますので今後是非参加していただきたいと思いません。	可能な限り対面式の運営会議を開催する。ウェブ会議の仕方を勉強しながら書面ではない開催を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	コロナの終息は未定な所はあるが、終息後に合同防災訓練を行っていく。内部のみの訓練は定期的実施。	今期も内部のみの防災訓練と消防による点検は実施した。自治会と合同開催は行えなかった。	実際の災害時は地域の方への協力が必要となると思います。可能になりましたら実施していただけたらと思います。	コロナ感染の状況を見ながら自治会への協力依頼をして防災の訓練を実施していく